

名称	自然が残る歴史みち「矢倉沢往還」	地区番号	東-2	登録番号	16
所在地	落合101番地先～寺山293番地の1地先（市道落合12号線）	登録年月日	平成20年11月1日		
景観上の価値	江戸時代には東海道の脇往還として整備され、赤坂から沼津を結んでいた矢倉沢往還は、弘法山山麓周辺をはじめ、市内各所に当時の面影が残されています。樹木に囲まれた坂の多い古道は、多くの市民が散策に訪れ、「歴史みち」として親しまれています。				
写真					